

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名 一般国道475号 <small>とうかいかんじょう</small> 東海環状自動車道（北勢～四日市） <small>ほくせい よつかいち</small>	事業 一般国道 区分	事業 国土交通省 主体 中部地方整備局 延長 14.4km
起終点 自：三重県いなべ市北勢町阿下喜 <small>ほくせい あげき</small> 至：三重県四日市市北山町 <small>よつかいち きたやま</small>		
事業概要 東海環状自動車道は愛知・岐阜・三重の諸都市を環状に連絡し、国土開発幹線自動車道や名古屋圏の自動車専用道路等と広域的なネットワークを形成する延長約160kmの高規格幹線道路である。 このうち北勢から四日市間は、岐阜県と三重県の連携・交流を促進するとともに、環状道路機能の発揮・地域経済の支援・地域の活性化に寄与するものである。		
H2年度事業化		H3年度都市計画決定
H5年度用地着手		H9年度工事着手
全体事業費	1,300億円	事業進捗率
計画交通量		20,100台/日
費用対効果分析結果		総費用 (残事業)/事業全体 699/941億円 (事業費：650/891億円 維持管理費：50/50億円)
B/C (事業全体) 1.6 (残事業) 2.1		総便益 (残事業)/事業全体 1,480/1,480億円 (走行時間短縮便益：1,381/1,381億円 走行費用減少便益：68/68億円 交通事故減少便益：30/30億円)
		基準年 平成19年
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（環状道路機能の発揮が見込まれる。） ・物流効率化の支援（スーパー中枢港湾（名古屋港・四日市港）へのアクセス強化） 他 20項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 ・いなべ市より早期開通の強い要望（平成19年3月15日）あり。 ・いなべ市の民間企業（4団体）からも、物流効率化の観点から高規格道路整備の要望あり。特に災害時における緊急輸送ルート確保のため、東海環状の早期開通を要望している。（平成19年3月15日）		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・アジア域内の物流が準国内物流化する中、陸海空のシームレスな物流が求められている。また、中京圏は拠点分散型の都市構造であり、名古屋市の外郭都市間の連携強化が必要な都市構造である。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・事業進捗率は24%、用地取得率は89%である。用地買収及び改良工事を実施中である。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・接続する第二名神高速道路の進捗状況（平成20年代後半）に併せ事業を進め、全線暫定2車線供用予定。		
施設の構造や工法の変更等 ・新技術及び新工法の適用によりコスト縮減（約15億円）を図っている。引き続きコスト縮減に努めながら、現計画に基づいて事業を推進する。		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。